

■会社概要（平成26年10月1日現在）

社 名 川本産業株式会社
設 立 昭和6年1月
資 本 金 883,000,000円
従 業 員 数 465名（内、契約雇用者数73名）

■株主メロ

事 業 年 度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
単 元 株 式 数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
上 場 取 引 所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
証 券 コ ー ド 3604

■事業所

- 本 社 〒540-0012
大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル
- 支 社
- 東 京 支 社 東京都江東区東陽6-3-2 イースト21タワー4階
- 営業所
- 仙 台 営 業 所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4階
 - 埼 玉 営 業 所 埼玉県加須市花崎5-31-1
 - 名 古 屋 営 業 所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12
 - 京 都 営 業 所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1
 - 堺 営 業 所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8
 - 南大阪営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 神 戸 営 業 所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5
 - 広 島 営 業 所 広島県広島市中区白島中町2-2
 - 福 岡 営 業 所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダン95 7階
- 出張所
- 札 幌 出 張 所 北海道札幌市東区北24条東15-4-20 日弘ビル4階C号室
 - 横 浜 出 張 所 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央11-3
ウェルネスセンタープラザ南ビル2階A-2号室
 - 高 松 出 張 所 香川県高松市多肥下町21-1 香西ハウス1階
- 駐在所
- 鹿 児 島 駐 在 所 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-68-1
- 工 場
- 大 阪 工 場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 埼 玉 工 場 埼玉県加須市花崎5-31-2

■役員（平成26年9月30日現在）

代表取締役社長	川 本 武
代表取締役専務	佐々木 功
※取締役	岡 田 博
※取締役	水 上 朋
※取締役	後 藤 真
※取締役	山 田 智
※取締役	川 本 竜
※取締役	高 尾 一
※取締役	横 田 清
常 勤 監 査 役	日 上 彦
監 査 役	親 上 明

（注）監査役日上俊彦、親上明両氏は社外監査役であります。
※印の取締役は執行役員を兼任しております。

■執行役員（平成26年9月30日現在）

執 行 役 員	上 野 貴 史
執 行 役 員	福 井 誠



第85期中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

P.1 トップメッセージ
P.3 トピックス
P.5 中間財務諸表
P.7 会社概要

川本産業株式会社

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目6番4号 谷町ビル TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インクを使用しています。





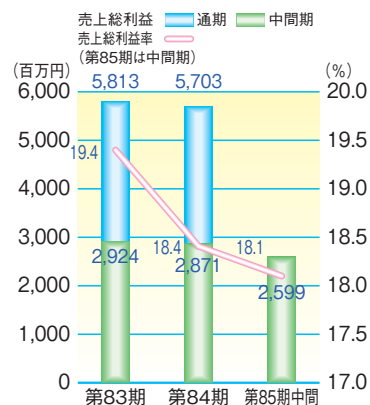
代表取締役社長

川本 武

■売上高



■売上総利益・売上総利益率



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。さて当社第85期中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

中間配当につきまして

誠に遺憾ながら中間配当については見送りとさせて頂きます。当中間期は消費税増税前需要の反動による売上減少や円安の進行による仕入コストの増加等、我が社を取り巻く経営環境は大変厳しいものとなり、営業赤字という結果となりました。株主の皆様には中間配当が見送りとなったことについてお詫び申し上げます。

Q

当中間期の業績はいかがだったでしょうか

A

消費税増税前需要の反動減や円安に伴う輸入品調達コスト増大の影響で営業赤字となりました。

当社の当中間期の業績は、売上高は143億68百万円（前年同期比6.0%減少）、営業損失は4百万円（前年同期は1億26百万円の営業利益）、経常損失は5百万円（前年同期は1億35百万円の経常利益）、中間純損失は5億24百万円（前年同期は71百万円の中間純利益）となりました。

当期は消費税増税前需要の反動減の影響で製品売上・商品売上ともに減少いたしました。また、円安が進行したことが要因で輸入品の仕入コストが増大し製品利益率が低下しました。これらの影響で売上総利益は25億99百万円（同9.5%減少）と大幅に減少いたしました。

経費面では、販売費及び一般管理費はコスト削減に注力したことにより26億4百万円（同5.1%減少）と減少しましたが、売上総利益の減少を補うことはできず、4百万円の営業損失となりました。

また、特別項目では、旧東京支店を売却したことに伴う「固定資産売却益」1億10百万円を特別利益に、早期希望退職制度の実施に伴う「事業構造改善費用」5億5百万円を特別損失に計上いたしました。

Q

下期の重点施策と通期の展望をお話ください

A

当中間期においては、早期希望退職制度を実施したのをはじめ、役員報酬や従業員賞与の削減等の経費節減策や資産の売却等、社内構造改革を進めてまいりました。下期につきましても、さらなる業務効率化、経費節減を進めるとともに、より一層の利益面の向上策を進めて収益の確保に全力を挙げてまいります。

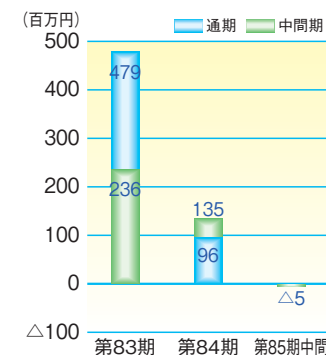
通期の展望につきましては、売上高は一部事業の収益性の低い取扱い品目の見直しを行っており前事業年度に比して減少し、また、円安進行により輸入品の仕入コストが増大することにより売上総利益率も低下する見込みであります。くわえて、当中間期において早期希望退職制度実施に伴う特別損失を計上いたしました。これらの要因を勘案し、売上高288億6百万円（前期比6.8%減）、営業利益33百万円（同60.4%減）、経常利益38百万円（同60.5%減）、当期純損失4億95百万円（前期は59百万円の当期純利益）を予想しております。

構造改革を推進するために最終赤字となる見込となりましたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。今後も構造改革を継続して断行し、収益構造の改善に不転の決意で臨む所存であります。

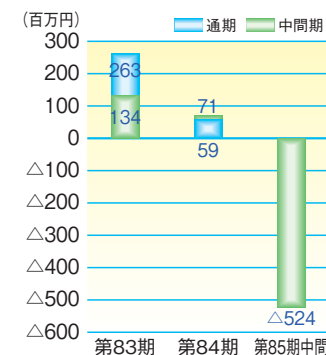
株主の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※予想数値につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

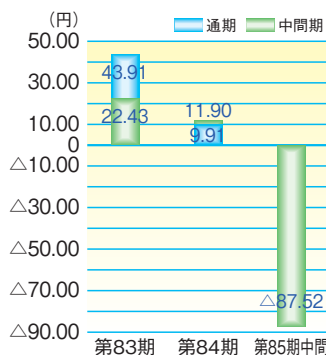
■経常利益



■中間(当期)純利益



■1株当たり中間(当期)純利益





口腔ケアスプレー 新発売！

口腔内にスプレーするだけ!! ワンプッシュで手軽にうるおい！

口 腔 化 粧 品



瞬時に
うるおう

かんたん
ワンプッシュ

誤嚥
しにくく
安全

ほのかな
甘み



●液の拡散性が良く、
口腔内にまんべんなく広がります。



●ノズル付きで、スプレーの方向が
わかりやすいです。

- 口腔内に瞬時にうるおいを与え、保湿します。
- 誤嚥しにくいよう、液に適度な粘性をつけています。
- 頻繁にご使用いただきやすいよう、味を付けずにほのかな甘味としています。



口腔ケアウェットガーゼ 新発売！

指にまいて拭うだけ!! ケア後のお口はさっぱりキレイ！

歯 み が き



かんたん
清掃

丈夫な
不織布

うるおい
成分配合

お口さっぱり
レモン
風味

- 水分をしっかり含んでいるので、ネバつく汚れもキレイにとれます。
- お口うるおう保湿成分配合です。
- 乾燥したお口にも使いやすいノンアルコールタイプです。
- 丈夫な不織布を使用しており、ケア中やボトルからの取り出し時に破れにくいです。
- 清掃後にお口がさっぱりするレモン風味です。



マウスピュア® シリーズを揃えていただければ、
清掃・リハビリ・保湿 全ての口腔ケアに対応できます！

準備

清掃

リハビリ

保湿



マウスピュア® シリーズで
キレイなお口・元気なお口に！

ケアとケアの
合間の保湿



滅菌ベンシーツXR 滅菌ベンシーツXD 新発売！

滅菌ベンシーツの「吸水性」「柔軟性」「低発塵性」
はそのままに、「優れたX線造影性」「厚みのバリ
エーション」を付加した脳神経外科用シーツ！

一般医療機器

届出番号：27B1X00006551011
販売名：滅菌ベンシーツX

吸水性、クッション性に
優れた厚手の
シーツがいい

狭い術野でも邪魔に
ならない薄手で柔軟性
のあるシーツがいい

厚手
タイプ

吸水性・保水性に優れた
滅菌ベンシーツXR



- 吸水性・保水性が高いシートでクリアな術野を確保、脳の損傷リスクを低減。
- 厚みとクッション性のあるシートで脳を愛護的に保護。
- 柔軟性が高く脳表面に沿いやすく、丸めでの使用も便利。

薄手
タイプ

狭い術野での操作性に優れた
滅菌ベンシーツXD



- 薄手シートなので狭い術野での操作性に優れ、術野の妨げにならない。
- 柔軟性が高く脳深層部での操作や、丸めでの使用も便利。

【中間貸借対照表

(単位:千円)

	前中間期 (平成25年9月30日現在)	当中間期 (平成26年9月30日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
① 流動資産	14,142,317	15,617,168	16,713,911
② 固定資産	4,834,523	4,413,162	4,852,402
有形固定資産	3,534,407	3,309,721	3,521,495
無形固定資産	49,825	74,330	79,382
投資その他の資産	1,250,289	1,029,110	1,251,525
資産合計	18,976,840	20,030,331	21,566,313
③ 流動負債	8,480,911	7,862,683	8,170,412
④ 固定負債	5,522,076	7,771,806	8,502,391
負債合計	14,002,988	15,634,489	16,672,803
株主資本	4,769,260	4,190,938	4,715,361
資本金	883,000	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	2,697,329	2,119,023	2,643,445
利益準備金	86,100	86,100	86,100
その他利益剰余金	2,611,229	2,032,923	2,557,345
配当引当積立金	5,000	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,606,229	1,027,923	1,552,345
自己株式	△ 3,666	△ 3,681	△ 3,681
評価・換算差額等	204,592	204,902	178,148
その他有価証券評価差額金	204,592	204,902	178,148
純資産合計	4,973,852	4,395,841	4,893,510
負債及び純資産合計	18,976,840	20,030,331	21,566,313

① 流動資産

流動資産は156億17百万円で前事業年度末に対して10億96百万円減少いたしました。「現金及び預金」が9億15百万円減少、「受取手形」・「電子記録債権」・「売掛金」が8億41百万円増加、「たな卸資産」が3億9百万円増加、「未収入金」が13億22百万円減少したことが主な要因です。

③ 流動負債

流動負債は78億62百万円で前事業年度末に対して3億7百万円減少いたしました。「支払手形」・「買掛金」が1億14百万円減少、「1年内返済予定の長期借入金」が7億17百万円減少、「未払金」が6億50百万円増加したことが主な要因です。

② 固定資産

固定資産は44億13百万円で前事業年度末に対して4億39百万円減少いたしました。有形固定資産で、「土地」が1億21百万円減少、投資その他の資産で、「保険積立金」が1億47百万円減少したことが主な要因です。

④ 固定負債

固定負債は77億71百万円で前事業年度末に対して7億30百万円減少いたしました。「長期借入金」が6億12百万円減少、「退職給付引当金」が1億25百万円減少したことが主な要因です。

【中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	15,291,161	14,368,597	30,918,761
売上原価	12,419,805	11,768,823	25,215,096
売上総利益	2,871,356	2,599,774	5,703,664
販売費及び一般管理費	2,744,862	2,604,069	5,618,352
営業利益又は営業損失(△)	126,493	△ 4,295	85,311
営業外収益	64,576	43,082	113,605
営業外費用	55,126	44,742	102,708
経常利益又は経常損失(△)	135,943	△ 5,955	96,209
特別利益	—	124,256	62,259
特別損失	—	525,874	17,719
税引前中間(当期)純利益又は税引前中間純損失(△)	135,943	△ 407,573	140,749
法人税、住民税及び事業税	76,306	10,242	89,914
法人税等調整額	△ 11,689	106,606	△ 8,549
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	71,326	△ 524,422	59,385

【中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 721,586	1,815	△ 370,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,413	942,305	△ 2,059,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	604,174	△ 1,342,502	2,862,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,778	3,120	6,318
現金及び現金同等物の増減額	△ 131,046	△ 395,261	438,854
現金及び現金同等物の期首残高	1,204,886	1,643,740	1,204,886
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,073,839	1,248,479	1,643,740

【株式の状況 (平成26年9月30日現在)

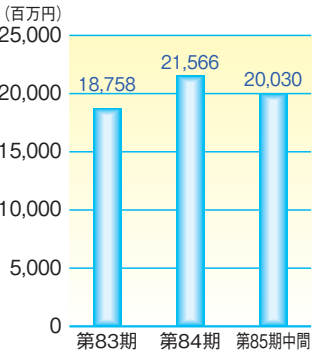
発行可能株式総数…… 16,000,000株
発行済株式の総数…… 6,000,000株
株主数…… 1,649名

【大株主 (平成26年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
巴株式会社	600	10.01
川本社員持株会	334	5.59
カワモト取引先持株会	319	5.33
川本 武	296	4.94
株式会社みずほ銀行	249	4.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	249	4.16
株式会社TK	196	3.27
株式会社りそな銀行	175	2.92
川本 洋之助	170	2.85
第一生命保険株式会社	100	1.66

※1. 持株比率は自己株式(8,223株)を控除して計算しております。
※2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

【総資産



【純資産

